

皆様に、最新の**労働災害情報**をおとどけています！

災害発生情報

55

2013.4.30
(社) 筑西労働基準協会

筑西労働基準監督署管内で発生した労働災害の最新情報をお届けしています。各社の安全衛生管理活動にご活用ください。

【落下災害】

| | | | | | | | |
|----------|---|----|------|----|-----|----|----|
| 業種 | 建設業 | 経験 | 12年 | 年齢 | 31歳 | 男女 | 男性 |
| 発生月 | | | 発生時刻 | | | | |
| 発生状況 | 建設工事現場でトレーラーから移動式クレーンで鉄筋を降ろす作業中、玉掛用ワイヤーロープが切断し、吊荷が落下した。ワイヤーロープの耐荷重1.2tに対し、3tの荷を吊っていた。 | | | | | | |
| 負傷の程度/部位 | 左下腿骨折、開放性踵骨骨折 | | 休業見込 | | 2か月 | | |

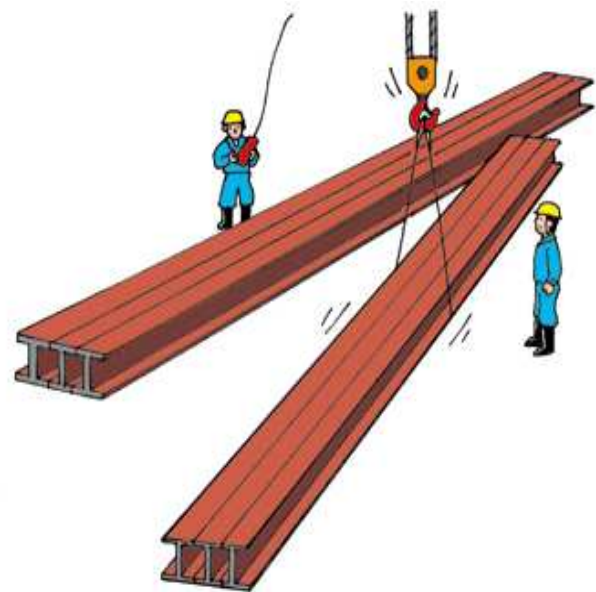
コメント

今回の災害は、トラックからの荷降し作業中にトレーラーが現場に到着したため、作業の順番を入れ替えた際、3t用の玉掛用ワイヤーロープが見当たらず、トラックの荷降しに使用していた1.2t用の玉掛用ワイヤーロープを使用して作業しています。

あらかじめ、トレーラーが到着することが解っていないながら、事前にワイヤーロープを準備していなかったことが災害の背景にあります。

建築現場では、段取り八部とよく言われます。段取りにより仕事の80%は終わったようなものと言われるほど、大切だということです。

いま一度、確認してください。十分な段取りはできてますか？



再発防止のアドバイス

- 1 あらかじめ、玉掛けする荷の形状、重量等、玉掛けに必要な情報を把握しておき、必要な強度、長さを有する玉掛用具を準備しておきます。
- 2 移動式クレーンで荷を吊り上げたら、地切を行ない、玉掛け者等、周囲の作業者は万が一、つり荷が落下しても下敷きにならないよう、つり荷から十分に離れます。

【お願い】

この記事は、筑西労働基準監督署のご協力により作成し、随時お届けしています。お届けしている災害情報はすべて実際に発生した事件ですが、わかりやすいように一部加工する場合があります。